

昭和59年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿
(五十音順)

〔 個 人 〕

乾 英夫 (三重県伊勢市)
小澤 広記 (北海道札幌市)
昆野 栄亀 (岩手県北上市)
山崎 直次郎 (熊本県葦北郡津奈木町)

〔 団 体 〕

旭化成工業株式会社 鈴鹿工場 (三重県鈴鹿市)
雲仙を美しくする会 (長崎県南高来郡小浜町)
荏宿町会 (神奈川県川崎市)
下仁田町森林組合 (群馬県甘楽郡下仁田町)
財部町荒川内育林協業体 (鹿児島県曾於郡財部町)
名古屋放送株式会社 (愛知県名古屋市)
真野校区緑化推進協議会 (兵庫県神戸市)
渡波さくらの会 (宮城県石巻市)

〔 学 校 〕

岡崎市立南中学校 (愛知県岡崎市)
坂城町立坂城小学校 (長野県埴科郡坂城町)
徳山市立遠石小学校 (山口県徳山市)
飯田市立飯田東中学校 学友会 (長野県飯田市)
馬頭町立馬頭中学校 緑の少年団 (栃木県那須郡馬頭町)

〔 地方公共団体 〕

赤泊村 (新潟県佐渡郡赤泊村)
帯広市 (北海道帯広市)
盛岡市 (岩手県盛岡市)

[個人]

氏 名	いぬい ひでお 乾 英夫
住 所	三重県伊勢市
功績の概要	氏は、村有林を分収林制度により活用し、村民総参加の森林づくりを推進するとともに、自ら乾方式ともいえる集約的育林技術を導入し、優良材生産を図るなど県内林業家の指導者として森林経営の改善に尽力している。 また、やまとまちを結ぶ緑化の推進の重要性を唱え、地域住民の参加による三辺緑化（路辺、川辺、海辺）の推進を主唱するなど、やまからまちまで幅広い国土の緑化の推進に多大の貢献をしている。

[個人]

氏 名	こざわ ひろき 小澤 広記
住 所	北海道札幌市
功績の概要	氏は、長年にわたり森林愛護の思想と豊かな情操を養うため、地域の幼児、児童・生徒に小鳥を愛する精神、緑の大切さを説き、私有地、学校等に小鳥の森を開設してきた。 こうした活動は、周辺市町村に及んでおり、実のなる木の植栽や自然観察指導等とともに、自ら苗木を生産し、近隣に配布するなど愛鳥精神に基づく諸活動を通じて、地域の緑化の推進に多大の貢献をしている。

[個人]

氏 名	こんの えいき 昆野 栄亀
住 所	岩手県北上市
功績の概要	氏は、戦後営々38余年にわたり自家山林のみならず、共有林に集落の人々とともに植林を進め、水害、干ばつを防ぐやまづくりに携わったほか、優良材生産の指導によって地域の林業経営、林業技術の向上に努めてきた。 また、森林組合の育成強化や地域林業発展のため、積極的な活動で地域住民の指導にあたってきたほか、現在高齢ながらも、山の手入りに携わり、地域の人々に植林を啓蒙するなど、緑資源の確保に多大の貢献をしている。

[個人]

氏 名	やまさき なおじろう 山崎 直次郎
住 所	熊本県葦北郡津奈木町
功績の概要	氏は、昭和38年自己の畑においてムクゲの苗木とショウブ、菊などの生産を始め、以来、奉仕活動によりこれらの花木を家族、老人会等の協力を得て、町道、県道沿線延べ10kmに植栽し、管理を行っている。 また、町内はもとより県内各地の公共施設、公園等のほか一般希望者に対し、花木を無償で配布するなど、現在もなお積極的な活動を続けており、美しい地域社会づくりを通じ、緑化の推進に多大の貢献をしている。

[団 体]

名 称	あさひかせい 旭化成工業株式会社	すずか 鈴鹿工場
所 在 地	三重県鈴鹿市	
代 表 者	工場長	河辺 哲也
功績の概要	工場設立以来30年の長きにわたり、緑化の推進に努め、敷地の緑化率は31%に及んでいる。 特に苗木から育成された工場周囲の高木樹林帯は幅30m、高さ15mに達しているほか、構内適所に花木を主とした緑地を配し、さらに記念植樹や花壇づくりなど工場ぐるみで緑を守り育てている。 また、桜まつり、緑化指導、研修などに際しては、地域への開放や施設の提供を行うなど、緑豊かなまちづくりに多大の貢献をしている。	

[団 体]

名 称	うんぜん 雲仙を美しくする会
所 在 地	長崎県南高来郡小浜町
代 表 者	会長 加藤 元俊
功績の概要	雲仙国立公園の環境美化に努め、明るい親しみのある公園づくりをめざす同会は、結成以来地域住民とともに緑化、美化活動が続けている。 特に、昭和45年からは、椿、桜などの植栽を始め、これまでにミヤマキリシマ7万本以上を植えたほか、その群落保護のため下刈りや清掃作業を実施している。 また、温泉街の緑化や桜の名所づくりなど自然環境保全保護活動を通じ、地域の緑化・美化意識の向上に多大の貢献をしている。

[団 体]

名 称	かりやどちょうかい 荏宿町会
所 在 地	神奈川県川崎市
代 表 者	会長 田中 明
功績の概要	同町会は、もともと緑の乏しかった住宅、商業施設、工場等が混在する地域で市と市民緑化推進地区協定を締結したのを契機に昭和53年以来「町の中に緑を！」を合言葉に、住民自らが手に汗して緑化を進めている。フラワーボックスの設置から始まった活動は、次第に学校、公園等への植栽に発展し、「緑は家庭から」と、これまで約8,000本の樹木を各家庭に導入したほか、緑の管理、美化活動を行うなど、その活動は花と緑の豊かなまちづくりに多大の貢献をしている。

[団 体]

名 称	しもにた 下仁田町森林組合
所 在 地	群馬県甘楽郡下仁田町
代 表 者	組合長 古市 完二
功績の概要	同組合は、集落座談会を通じ、小規模林家の森林を団地にまとめ、作業道の開設と共同育林事業を組み合わせた、いわゆる下仁田式集団間伐方式を実施し、これは間伐促進対策のモデルとして全国に普及し、森林整備促進に大きな貢献をしている。 一方、特用林産物の生産振興により定住化の促進に取り組むとともに、町内会老人クラブに呼び掛け「さくらの里」造成に協力するなど、林業活動を通じて地域緑化の推進に多大の貢献をしている。

[団 体]

名 称	たからべ あらかわうち 財部町荒川内育林協業体
所 在 地	鹿児島県曾於郡財部町
代 表 者	すぐや 吉村 健
功績の概要	同協業体は、過疎地での森林の手入れの困難性を克服するため、林業後継者の活動を契機に地域ぐるみで組織された。 造林保育から除・間伐まで集落ぐるみで行い、町、森林組合と一体となり、間伐材の流通体系を確立するなど、「集落ぐるみ手入れ推進運動」を率先して実践し、県内各地に波及させるとともに、新しい時代に即応した森林づくりの在り方として全国的にも注目を集めている。 このように、間伐運動推進とともに、緑化の推進に多大の貢献をしている。

[団 体]

名 称	なごや 名古屋放送株式会社
所 在 地	愛知県名古屋市
代 表 者	社長 川手 泰二
功績の概要	同社は、戦災、台風で失われた緑の復活を図るべく名古屋市の緑化運動に協力し、昭和38年以来広報媒体の特性を活かし一貫してグリーンキャンペーンを展開して一般市民の緑化意識の向上を図っている。 また、自らも率先して名古屋市を始め東海諸都市に対し、道路、街路、公園等に樹木の寄贈を続け、これらの累積はすでに26,000本以上となっており、こうした活動を通じて、緑豊かで潤いのあるまちづくりに多大の貢献をしている。

[団 体]

名 称	まのこうく 真野校区緑化推進協議会
所 在 地	兵庫県神戸市
代 表 者	毛利 芳蔵 (尻池南部地区自治連合協議会会長) 芦尾 芳一 (真野自治連合会会長)
功績の概要	緑の少ない典型的な住工混在区域の自治会、婦人会、事業所で構成されている同協議会は、緑化推進について住民の合意形成を図るとともに、地域緑化の実現に向けて、地区住民の緑化意識の高揚に努めた。 また、市当局との緊密な連携を図りつつ私道、宅地等民有地の緑化を進めるとともに、新設公園の自主管理や緑に関する講習会など地域一体となって総合的な都市緑化の推進に多大の貢献をしている。

[団 体]

名 称	わたのは 渡波さくらの会
所 在 地	宮城県石巻市
代 表 者	会長 魚住 三郎
功績の概要	同会は、県道石巻鮎川線（通称金華山道路）沿線の桜を守り育てる運動を行っており、昭和49年以來の活動により沿道約8 kmに約600本の桜を植樹している。 同会は、青年、婦人、老人等の諸団体で構成されており、一般の地区住民の協力もあって、年間を通じ桜の管理を続けているほか、渡波海岸のハマナス園の整備への協力や地域環境美化活動などにより、花と緑に包まれた地域社会づくりに多大の貢献をしている。

[学 校]

名 称	おかざき みなみ 岡崎市立南中学校
所 在 地	愛知県岡崎市
代 表 者	校長 中根 清巳
功績の概要	同校は、昭和25年独立校舎建設を契機に「緑を育て、緑に学ぶ学校づくり」を教育目標の一つに掲げ、以来、勤労体験学習、情操教育、自然観察等学校教育と関連づけた緑づくりを展開し、高い評価を受けている。 同校のこうした活動は、岡崎市を中心に県内に波及するとともに、岡崎市の「緑の銀行」の中心校として年間2万本の挿木を実施するなど、地域の核として環境緑化運動の推進に多大の貢献をしている。

[学 校]

名 称	さかき さかき 坂城町立坂城小学校
所 在 地	長野県埴科郡坂城町
代 表 者	校長 真島 宣男
功績の概要	同校は、「緑の故郷坂城」を教育目標に昭和41年学校林を設定して以来、緑を教材とし、勤労の喜びと自然愛護精神の育成に努めている。 また、教師、児童、父兄一体となった学校林活動により、地域全体の連携を図っているほか、昭和55年には県内初の緑の少年団を結成するなど、学校林を教場とした教育と緑づくりの活動を併用した同校の教育活動は、県内全域に波及し、緑化教育の推進はもちろん、地域のやまづくりの推進に多大の貢献をしている。

[学 校]

名 称	といし 徳山市立遠石小学校
所 在 地	山口県徳山市
代 表 者	校長 福原 満
功績の概要	同校は、昭和30年代から石油コンビナート地域という状況の中で、計画的に学校環境緑化を推進することとし、児童の発達段階に応じてすべての教科・領域に緑化活動を取り入れ、緑化の重要性を認識させる指導方法を工夫してきた。 その結果、学校緑化活動は周辺校に波及するとともに、子供花壇の設置や親子一鉢運動の推進などにより、地域ぐるみの緑化活動として発展を見せており、地域の緑づくりの核としても多大の貢献をしている。

[学 校]

名 称	いいだ 飯田市立飯田東中学校 がくゆうかい 学友会
所 在 地	長野県飯田市
代 表 者	校長 三尾 睦彦
功績の概要	同学友会は、昭和27年、大火後の復興を図りつつあった市当局に「りんご並木」の設置を呼び掛け、翌年生徒全員の作業によって「りんご並木」が誕生した。 以来30年余にわたり、先輩の情熱を受け継いだ学友会の活動は、年間を通じた並木管理ばかりでなく、周辺緑地の花壇づくりや「りんご並木」を通じた全国各地との交流など幅広く続けられており、緑と潤いのあるまちづくりに多大の貢献をしている。

[学 校]

名 称	ばとう 馬頭町立馬頭中学校 緑の少年団
所 在 地	栃木県那須郡馬頭町
代 表 者	校長 星 裕
功績の概要	同校は「緑づくりは土づくり」の精神で長年にわたり土壌的悪条件を克服し、緑豊かな環境を創出し、高い評価を受けている。また、昭和52年1,500haに及ぶ地域の山火事後設定された学校林を緑の少年団を中心に造林し、地域の復旧造林意識回復の原動力となり、復旧5箇年計画をわずか3箇年で完了させた大きな要因となった。 こうした困難な緑化を成し遂げた実績は、伝統となって今も引き継がれており、地域緑化の推進に多大の貢献をしている。

[地方公共団体]

名 称	あかどまり 赤 泊 村
所 在 地	新潟県佐渡郡赤泊村
代 表 者	村長 石塚 英夫
功績の概要	昭和53年、過疎化に悩む村の林業経営に分収育林制度を導入し、都市住民の参加を得て「ふるさとの森」づくりを開始した。この森づくりを通じて、都市住民と村民との交流を図るとともに、造林地の保育に都市大学生の緑の十字軍を受け入れたり、村の緑の少年団、老人クラブの参加協力を得て「みんなの森林」を造成するなど、都市と山村との連携交流による「ふれあいの森林づくり」運動推進の先駆的役割を果たしている功績は誠に多大である。

[地方公共団体]

名 称	おびひろ 帯広市
所 在 地	北海道帯広市
代 表 者	市長 田本 憲吾
功績の概要	帯広市は、緑深い森で都市を包み込む「帯広の森」づくりをめざし、昭和49年都市計画決定を行い、さらに「帯広圏緑のマスタープラン」を策定し、これに基づき現在着々と森づくりを推進している。 市は、遠大な計画を市民の声援を得ながら着実に推進しており、市民は、昭和50年以来市あげての植樹祭を催し、10万本近い植樹を行うなど、森づくりを進めている。このほか、市全域での緑化など、都市緑化の推進に多大の貢献をしている。

[地方公共団体]

名 称	もりおか 盛岡市
所 在 地	岩手県盛岡市
代 表 者	村長 太田 大三
功績の概要	盛岡市は、昭和45年の岩手国体を一つの契機として、市民参加による環境緑化運動が盛り上がりを見せ、以来「あすを築く百万本植樹運動」の達成、「生け垣一万メートル運動」の達成、さらにグリーンバンクの設立、人生の節目となる入学、結婚、新築の記念植樹等の実施など市民総ぐるみで緑化の推進を図っている。 また、各種公園施設等の適正な配置により、総合的な緑豊かな潤いのあるまちづくりを推進している功績は誠に多大である。